

講習／授業科目名	教師教育者のための理論探究・自己省察セミナーおよび論文執筆ゼミ
担当者	松本佑介・太坂遊
実施方法	対面／オンデマンド／ 同時双方向
実施場所（対面の場合）	
講習／授業科目の別	講習 ／授業科目
時間数	合計 120 時間
単位数（授業科目の場合）※	
<p>講習／授業計画</p> <p>1. 教師教育者のための理論探究・自己省察セミナー・・・3 時間×10 回＝合計 30 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回（5 月実施）：専門性開発のためのワークショップ（1） ・第 2 回（6 月実施）：教師教育者に関する文献購読（1） ・第 3 回（7 月実施）：教師教育者に関する文献購読（2） ・第 4 回（8 月実施）：教師教育者に関する文献購読（3） ・第 5 回（8 月実施）：研究方法論の理解（1）－質的研究の概要－ ・第 6 回（9 月実施）：研究方法論の理解（2）－質的研究におけるデータ分析－ ・第 7 回（10 月実施）：共同研究論文の構想発表 ・第 8 回（11 月実施）：共同研究論文の原稿の購読とコメント ・第 9 回（12 月実施）：専門性開発のためのワークショップ（2） ・第 10 回（1 月実施）：専門性開発のためのワークショップ（3） <p>2. 教師教育者のための論文執筆ゼミ・・・随時実施，合計 90 時間以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月～11 月にかけて，1 のセミナーと並行して実施する。 ・共同研究グループ単位で実施するため，実施時期や活動内容はグループを統括する講座運営スタッフに委ねる。 ・以下，過去の事例に基づく活動イメージ。 <ul style="list-style-type: none"> － 先行研究の整理，RQ や方法の確定，分析枠組みの確定・・・15 時間以上 － 聞き取り調査の準備，質問紙項目の作成，データ収集・・・15 時間以上 － データの分析と解釈，示唆についての議論・・・15 時間以上 － 論文の執筆（草稿作成→推敲→提出→校正）・・・45 時間以上 	
教科書・参考書等（あれば）	
<p>評価の基準等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーにおいては，①ワークやディスカッションを通して教師教育者としてのあり方を省察できているか，②毎回の課題が適切に回答されているか，の 2 点を中心に評価する。 	

・論文執筆ゼミにおいては、①共同研究において積極的に発言したり意見を提案したりして他者の学びに貢献しているか、②共同研究や論文執筆に関する具体的な作業を引き受けて適切に実行しているか、の2点を中心に評価する。

※単位認定を希望する場合は、履修証明プログラム履修生としての申請とは別に、本学の科目等履修生として出願し、入学の許可を受けなければなりません。